

南京戦史資料集II

財団法人 偕行社

2043915854

目次

資料解説

「上海・南京 見た、撮った」(元毎日聞写真記者・佐藤振壽撮影)..... 1

昭12・8・15
13・2・28

1

松井石根大将陣中日記..... 4

上海派遣軍司令官親補・出征(八月十五日〜二十日)..... 13

上海上陸戦闘(八月二十二日〜二十四日)..... 35

軍司令部上陸(九月九日〜十一日)..... 102

大場鎮攻撃(十月二十一日〜二十六日)..... 93

蘇州河の戦闘(十月二十九日〜十一月三日)..... 109

第十軍の杭州湾上陸(十一月五日〜六日)..... 112

上海の閉鎖完成(十一月九日)..... 123

湖東会戦の終結(十一月二十日)..... 123

南京攻略戦(十二月一日〜十三日)..... 133

南京入城式・慰霊祭(十二月十七日〜十八日)..... 142

帰国(十三年二月十日〜二十一日)..... 171

松井石根大将「支那事变日誌抜粋」..... 183

陸軍大将畑俊六日誌「要約」..... 189

杉山書簡(杉山陸軍大臣から松井大将宛書簡)..... 191

松井指揮官・山本實彦対談(雑誌『改造』昭和十三年三月号)..... 197

河邊虎四郎少将回想応答録「抜粋」(昭和十五年 参謀本部作製)..... 201

対支那中央政權方策(昭和十二年十一月 参謀本部第一部第二課)..... 227

上村利道日記（上海派遣軍参謀副長・歩兵大佐）	昭12・8	15	13	2	15
山田梅二日記（歩兵第百三旅団長・陸軍少將）	昭12・9	9	9	12	31
両角業作手記（歩兵第六十五聯隊長・歩兵大佐）	昭12・11	21	12	12	31
荒海清衛日記（歩兵第六十五聯隊第一大隊本部・上等兵）	昭12・11	21	12	12	31
大寺隆日記（歩兵第六十五聯隊第七中隊・上等兵）	昭12・9	10	12	12	24
菅原茂俊日記（歩兵第三十六聯隊乙副官・歩兵少尉）	昭12・9	10	12	12	24
歩兵第三十六聯隊第十二中隊「陣中日誌」	昭12・12	8	12	12	18
福元統日記（歩兵第四十五聯隊第十一中隊・上等兵）	昭12・12	10	12	12	23
歩兵第四十五聯隊第二中隊「陣中日誌」	昭12・12	10	12	12	22
歩兵第四十七聯隊第二中隊「陣中日誌」	昭12・12	10	12	12	26
戦車第一中隊行動記録（概要）	昭12・12	12	12	12	18
太田壽男供述書（第二碇泊場司令部・騎兵少佐）	昭12・11	5	12	12	31
梶谷健郎日記（第二碇泊場司令部・騎兵軍曹）	昭12・11	5	12	12	31
俘虜取扱規則（明治三十七年・陸達第二十二号）	昭12・11	5	12	12	31
支那事変関係公表集（昭和十二年十二月〜十三年一月・外務省情報部）	昭12・11	5	12	12	31
大本営陸軍部・西義章中佐の報告（概要）『東京日日新聞』	昭12・11	5	12	12	31
外国に於ける新聞（外務省情報部）	昭12・11	5	12	12	31
南京・上海・杭州国防工事の構想、構築と役割（黄徳馨述）	昭12・11	5	12	12	31
南京城復讐陣地の構築と守城戦闘（程奎朗）	昭12・11	5	12	12	31
「従軍とは歩くこと」佐藤振壽手記（元毎日新聞写真記者）	昭12・11	5	12	12	31
「南京へ!! 南京へ!! 新聞匿名月評」（雑誌『文藝春秋』昭和十三年一月号）	昭12・11	5	12	12	31

資料解説

『松井石根大将戦陣日記』について

本文冒頭に収録したのは、松井石根大将が上海派遣軍司令官に親補された昭和十二年八月十五日から翌昭和十三年二月二十八日帰国するまで六ヶ月半に及ぶ戦陣日記の「全文」である。

うち、八月十五日から十月三十一日にわたる上海戦間の二冊、第壹巻・第貳巻は戦後一時所在が不明であったが、原剛氏（防衛研究所戦史部部員）の熱心な捜索により平成四年八月板妻・普通科第三十四連隊資料館で発見され、上海戦から南京占領に及ぶ大将の日記の全文が初めて公開されることとなった。

『資料集Ⅰ』所収の上海派遣軍参謀長『飯沼守日記』、本『資料集Ⅱ』所収の同じく参謀副長『上村利道日記』と併せ読みたい。

従来、ややもすれば観念論に傾きがちであった「南京事件論争」に関し、上海戦から南京攻略にわたる作戦指導をめぐる論争と齟齬、戦闘の実相・将兵の戦場心理や勇怯・その死傷病、補給の実態——等々について、具体的な全体像を把握するための確かな手掛かりとなるであろう。

一例を挙げよう。当時同盟通信社上海支局長であった松本重治氏の回顧録『上海時代（下）』（中公新書・昭和50年）によれば「松井大将は」南京に行かずに「すむよう」事態の和平的收拾を計られた」（217〜222ページ）と、説得力に富む会見記が昭和十二年九月十四日の出来事として述べられ、またこの記事は歴史的事実として他の著作物にも